

イベントレポート

Event Report



自然観察会

9月24日(日)

自然科学学習館との共催による自然観察会を大森山動物園と大森山公園で行いました。午前には公園に行き大森山にいる身近な生き物(野鳥、魚類、昆虫、植物)を観察したほか、フィールドゲームなどを行いました。午後は野外にあった植物を拾ってきて動物に見立てた工作を行いました。



参加者で生き物を観察

また、公園で拾ったドングリを特別に動物園のツキノワグマやニホンザルにエサとしてあげてもらいました。参加者は子ども5名、大人4名でしたが、時間いっぱい楽しんでいました。



公園の植物で工作

日新小学校わくわくフェスタ

10月4日(水)



異学年交流と動物園学習を目的に秋田市立日新小学校の全児童が徒歩で動物園を訪問する「日新わくわくフェスタ」は、各学年の学習内容とリンクさせた動物園活動に取り組んでいます。動物園を教育の場として活用できる方法を探りながら先生方との打ち合わせを重ね、事前事後の学習として飼育員が学校で児童に講話を実施したり、飼育員が作成した動物クイズの表現を先生方が手直ししたりするなど準備を行いました。

当日は900名近くの児童が来園し、園内は土日並みの混み具合でしたが、大きな事故や混乱もなく無事に終了しました。

後日、先生方と園職員の反省会では「動物園での活動が子ども達の学習に根付いている」「動物はカッコイイ、カワイイだけではない、様々な顔を持っていることを子ども達は知ることができた」との声もあり予想以上に貢献できたことを実感しました。



水生生物調査

9月30日(土)



参加者で地引き網を引く

園内の塩曳潟で市民ボランティアによる水生生物調査を行いました。当日はあいにくの悪天候でしたが、子ども17名を含む合計34名の参加がありました。定置網や地引き網を引いてもらい、捕れた魚を種類ごとに数えたり全長を計測したりしました。希少種であるゼニタナゴも11尾採捕でき、無事に生息していることを確認できました。目で見て触って感じてもらうことで、塩曳潟の現状をより深く理解してもらうことができたと思います。



ゼニタナゴを確認

秋の動物ふれあいフェスティバル

10月8日(日)



動物パレード

人気の動物パレードには、ペンギンやイヌワシ、ラマなどのほか、プロバスケットボールチーム秋田ノーザンハピネッツの「ビッキー」も参加し、写真を撮るたくさんのお客様でにぎわいました。このほか、動物舎裏側見学では普段入れないキリンやゾウ、チンパンジーなどの展示場に入り、動物になった気分遊ぶ子ども達の歓声があふれました。



チンパンジー展示場で遊ぶ子ども達

ジャンボウサギフェスティバルに初出品で初入賞!

10月14日(土)・15日(日)

秋田県大仙市中仙で開催されたジャンボウサギフェスティバルに大森山動物園から2頭を出品し、「あんこ」がM級めすの部で4~8位に授与される奨励賞を受賞しました。審査員からは「初出品で入賞できるのは、とても珍しい」という講評をいただき、頑張って飼育管理した成果だと、飼育チーム一同で喜びを分かち合いました。

また、全国各地からジャンボウサギの飼育や研究に携わる人が集まったシンポジウムにも参加し、国内と海外の飼育方法の違い等、今後の飼育に活かせるお話しも聴くことができ、有意義な1日でした。



西原智昭氏講演会

11月3日(金・祝)

「マルミミゾウとヨウムを絶滅から救うことはできるのか〜いま日本人にできること」と題し、アフリカの熱帯林地域で野生生物の研究調査や生物多様性保全に従事している理学博士・西原智昭氏に講演していただきました。学生から70歳代まで33名が参加し、日本人が絶滅の危機に瀕している野生動物の密猟や熱帯林の開発による環境破壊にどの



のように関わってきたかを知り、今私たちに何ができるのかを考える良い機会となりました。

どうぶつサイエンス ~イヌ科動物のひみつ~

11月12日(日)



2018年は戌年ということでイヌ科動物にちなんだイベントを行いました。タヌキとよく間違われるアライグマやレッサーパンダはどこが違うのかを足跡や尻尾、歩き方などを比較し調べました。また、シンリンオオカミが肉を食べる様子を間近で観察、スケッチして理解を深めました。気温が非常に低い中、寒さをものともせず「ここここが違うんじゃない?」と子どもと一緒に話し合いながら大人がスケッチをしている姿が印象的でした。



さよなら感謝祭

11月26日(日)

11月最終日曜日に、お客様と動物たちへの感謝を込めて「さよなら感謝祭」を開催しました。セレモニーでは、高木名誉園長や動物園の運営にご協力いただいている団体の皆様が出席する中、秋田市立日新小学校の吹奏楽演奏に続き、2017年に亡くなったイヌワシの「鳥海」やコウノトリの「タイサ」など35種85点の動物に慰霊の献花を行い、秋田市立浜田小学校の児童代表が慰霊の作文を読み上げました。

その後のイベントでは、レッサーパンダへのエサやり体験やミルヴェンジャー7ショーなどを実施しました。



さよなら感謝祭セレモニー



ミルヴェンジャー7ショー

今後のイベント

2018年通常開園スタート
3月17日(土)~12月2日(日)
※期間中は無休